

(21) 藻類養殖指導

予算

運営費交付金

概要

- ・藻類養殖漁場の塩分、リン（DIP）、窒素（DIN）：表1～3のとおり。
- ・ノリ養殖（尾崎・西鳥取）：10月21日に育苗開始、育苗中のノリ芽は比較的良好であった。冷凍入庫は11月上・中旬実施。11月23日から12月3日ノリ網の張り込みが行われた。12月1日頃から食害や葉体の破損・流失が発生し、生長に停滞がみられた。本格的な摘採は1月上旬からとなった。1月下旬には色落ちによる生産休止があったが2月上旬に回復した。2月下旬に再度色落ちが発生し、終漁まで回復しなかった。終漁は西鳥取では3月上旬、尾崎では3月下旬となった。生産枚数は148万枚となった（表4）。
- ・ワカメ養殖：徳島県産種糸の入荷が遅れたため、田尻、岡田浦、尾崎、西鳥取、下荘では11月中旬～12月上旬に養殖が開始された。谷川では、フリー配偶体種苗を3回生産し、11月23日、12月10日及び1月25日から養殖に供した。生産開始は概ね1月下旬からであったが、谷川では養殖初期に食害発生により生産開始が遅れ、生産開始は3月となった。
- ・藻類養殖情報：気温・水温、降雨量、栄養塩測定結果、赤潮発生状況及び養殖概況をとり

調査方法

1. 調査定点
田尻町田尻、泉南市岡田浦、阪南市尾崎、西鳥取、下荘、岬町谷川の6点
2. 調査期間と実施日
2018年11月から2019年3月
巡回指導実施日：11月5日、12月3日、1月7日、2月4日、3月4日
3. 調査項目
 - ・巡回指導
各養殖漁場で採取した表層海水の塩分、溶存態無機リン（DIP）、溶存態無機窒素（DIN）の測定（塩分、DIP、DINの分析は海域環境グループが実施）、ノリ・ワカメの養殖概況の把握

調査結果

3. 1) の結果は表1~4のとおり。

担当者

佐野雅基、山中智之、田中咲絵（栄養塩分析）、常本修（塩分分析）

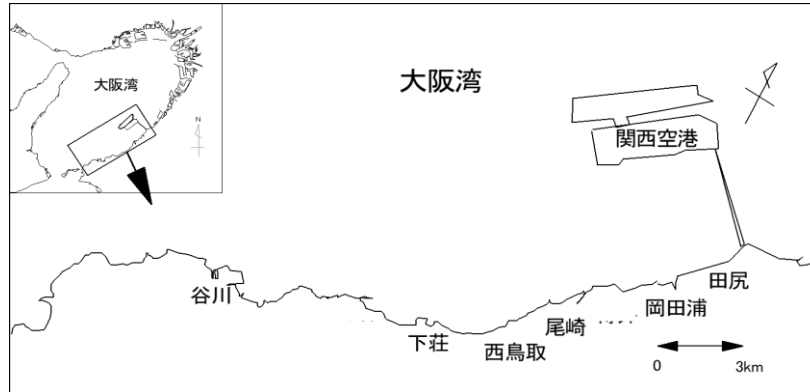


図1 調査場所

表1 漁場の表層塩分

月	(psu)					
	田尻	岡田浦	尾崎	西鳥取	下荘	谷川
11	—	31.14	31.26	31.36	31.67	32.39
12	—	31.54	31.52	31.53	31.47	32.30
1	31.53	31.42	29.47	31.61	31.39	32.07
2	31.78	31.48	31.72	31.54	31.55	32.14
3	31.7	31.88	28.90	32.10	31.57	33.27

表2 漁場のDIP

月	$(\mu\text{mol/l})$					
	田尻	岡田浦	尾崎	西鳥取	下荘	谷川
11	—	0.91	0.58	0.51	0.53	0.60
12	—	0.93	0.70	0.82	1.05	0.62
1	0.41	0.42	1.23	0.26	0.44	0.25
2	0.21	0.28	0.26	0.32	0.36	0.25
3	0.06	0.21	0.48	0.04	0.36	0.25

※ノリ色落ち警戒濃度： $0.5\mu\text{mol/l}$ 、ワカメ色落ち警戒濃度： $0.1\mu\text{mol/l}$

表3 漁場のDIN

月	$(\mu\text{mol/l})$					
	田尻	岡田浦	尾崎	西鳥取	下荘	谷川
11	—	14.09	5.21	4.00	4.36	6.11
12	—	16.69	11.57	14.20	15.59	8.36
1	7.29	8.26	20.36	4.00	8.35	3.48
2	4.13	5.23	3.89	4.93	5.26	3.54
3	0.38	1.36	11.84	1.38	4.84	2.83

※ノリ色落ち警戒濃度： $10\mu\text{mol/l}$ 、ワカメ色落ち警戒濃度： $2\mu\text{mol/l}$

表4 ノリ生産概況の経年変化

年度(平成)	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	前年比(H30/H29)
経営体数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	1.00
持網数(千枚)	1.04	1.05	1.02	0.90	0.86	0.86	0.67	0.76	0.79	0.79	0.78	0.99
生産枚数(千枚)	47	302	296	292	360	343	258	154	159	322	148	0.46
共販枚数(万枚)	0	25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
平均単価(円/枚)	—	6.56	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—